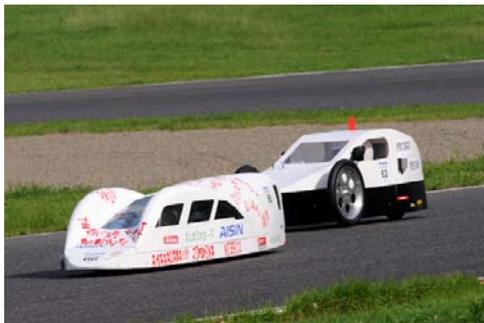


2012 Ene-1 GP SUZUKA [2012年8月5日(日)開催] 参加概要および競技、車両各規則決定のご案内

**電気を動力源とする次世代エネルギーカーによるチャレンジを鈴鹿サーキットで開催！
チームの力を合わせ制作したエコロジーマシンで、難コース鈴鹿に挑む！！**

2012年より中学生クラスを新設。さらに若い、未来のエンジニアに門戸を広げます

2011年8月、鈴鹿サーキット国際レーシングコースを舞台に初めて開催されたEne-1 GP SUZUKA。充電式単3電池40本でコースを走るKV-40チャレンジには高校生チーム、大学・専門学校チーム、一般チームなど全国から53チームの参加があり、各クラスでエネルギーマネージメントを競う戦いがくり広げられました。また市販自動車などの車体をベースとし、バッテリーとモーターを動力源とするEVパフォーマンスチャレンジでは、タイムアタックなどの要素を取り入れた競技や耐久レースを開催。電気パワーをいかに効率よく使うかのエネルギーマネージメントに加えて、軽く強い車体製作も求められ、持てる力を結集しての競技参加となりました。2012年度は競技規定、車両規定を変更し、内容も充実させ、さらに幅広い層からの参加を目指しています。環境に配慮した、新しいモビリティ文化を創造するチャレンジが始まります。



KV-40チャレンジ(2011年の様子)



EVパフォーマンスチャレンジ(2011年の様子)

規則変更により、より参加しやすく、チャレンジングな競技に！ KV-40チャレンジには中学生クラスを新設！

2012年はより参加しやすく、チャレンジングな競技となるべく、車両規則及び競技内容の見直しを行いました。EVパフォーマンスチャレンジには市販電気自動車のクラスを新設。KV-40チャレンジは40本の単3電池の使用はそのままに、周回数を2周から3周に増加。また新たに中学生クラスを新設いたします。

※詳細は次のページをご覧ください

鈴鹿サーキットホームページでエントリー方法、および各規則を公開中！

http://www.suzukacircuit.jp/ene1gp_s/にてEne-1 GP SUZUKA 2012のエントリー方法、および競技規則・車両規則を公開しています。

2012年スケジュール

- エントリー期間: 2012年4月1日(日)～6月30日(土)
- 試走会: 2012年6月中旬(予定)
- 競技日: 2012年8月5日(日)

YouTubeで2011年の様子をご覧いただけます

動画共有サイトYouTube(<http://youtube.com/>)でEne-1 GP SUZUKA 2011の様子をご覧いただけます。キーワード「Ene-1 GP」で検索してください。

競技規則・車両規則

充電式単3電池40本を動力源とするKV-40チャレンジ

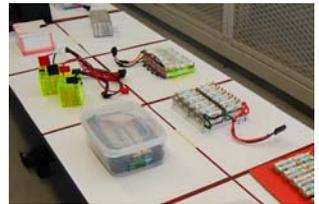
充電式単3電池40本を動力源とするKV-40チャレンジは、鈴鹿サーキットフルコース1周(5.807km)のタイムアタックを3回行い、走行距離と走行タイムを競います。電池の消費量を少なくするための細心のアクセル、ブレーキ操作が必要で、加えて電気消費の大きい登り坂と下り坂での電気の使い方を工夫するなど、電池パワーをどのように配分するかのエネルギーマネジメント力が重要となってきます。

車体重量の制限がないKV-1と車体重量が35kg以上のKV-2に分けられ、高校生クラス、大学・高専・専門学校クラスに加え、新たに中学生によるクラスも加わることになりました。急カーブときついアップダウンがある鈴鹿サーキットを走るためには車体も重要になります。高性能モーターを搭載しても車体が弱ければコースを走り切ることはできません。試走会の設定もあり、本番までに車を改造できる機会もあるため、若者の想像力を十分に発揮して鈴鹿の難コースに挑んで欲しいものです。

若者がクルマと親しみ、ものづくりの楽しさを体験し、エネルギーを考えるきっかけとなる場を提供し、モビリティとエコをつなぐ“ものづくりイベント”として開催します。



2011年の様子



エネルギーは
充電式単3電池40個

■クラス分け

	KV-1	KV-2
車両重量制限	車両重量制限なし	車両重量35kg以上
ドライバー重量制限	55kg以上(装備品含む)	55kg以上(装備品含む)
クラス分け	高等学校 大学,高専,専門学校 一般	中学生 高等学校 大学,高専,専門学校 一般

■競技内容

鈴鹿サーキット国際レーシングコース(5.807km)1周×3回

EVパフォーマンスチャレンジは市販電気自動車の参加も可能に！

高校生以上の参加者を対象にしたEVパフォーマンスチャレンジはバッテリーとモーターを動力源とした軽自動車以上の車両で、東コースの走行タイムを競う0-S字タイムアタック、60分走行の耐久競技(ピットイン3回)が行われます。さらには市販されているEV、電気自動車のクラスも新たに設けられ、より身近にエネルギー管理を楽しむ事ができる競技となりました。

タイムアタックを終えた車両はバッテリー充電を行うことなく耐久レースに進み、加えてポイントが耐久レース重視となっているために、タイムアタックが速くても耐久で止まってしまうと上位進出は難しくなります。トータルで走り切れるようにエネルギー配分を考えてのスムーズな走行が要求されます。



2011年の60分ロングディスタンス
スタートシーン



2011年のタイムアタック(S字)
の様子

■クラス分け

	ストッククラス	市販車クラス
車両	軽自動車以上の市販車両	市販電気自動車
クラス分け	リチウムイオンバッテリー部門 鉛電池部門	なし

■競技内容

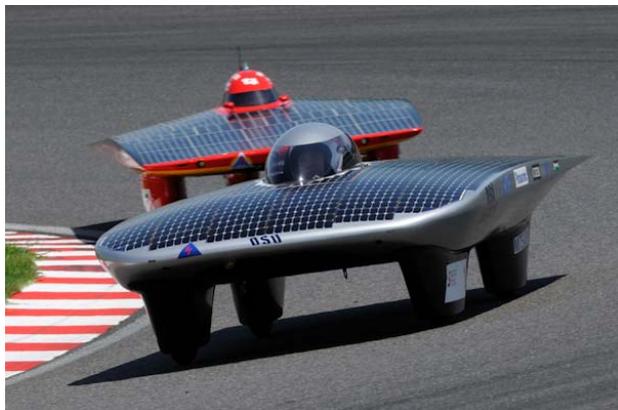
【0-S字アタック】鈴鹿サーキット国際レーシングコース、メインストレート～S字(約1km)

【60分ロングディスタンス】鈴鹿サーキット国際レーシングコース60分間走行(ピットイン3回義務)

鈴鹿サーキットについて



世界最高峰の自動車レース、F1グランプリ
(2011年日本グランプリ、スタートシーン)



1985年から開催されているソーラーカーレース
(2011年の様子)

1962年に開場した鈴鹿サーキットは日本で唯一「モータースポーツ都市宣言(2004年に宣言)」をした三重県鈴鹿市にあり、2012年に開場50周年を迎えます。この間、国内の主要レースはもちろん、数々の国際レースを開催してきました。1978年からは鈴鹿8時間耐久ロードレースを、87年からは世界最高峰の自動車レース、F1グランプリを開催。同時に81年から開催されているのが、1リットルのガソリンでどれだけの距離を走れるかを競うHondaエコマイルレージチャレンジ。さらに85年からは太陽光を電気エネルギーに変えて走るソーラーカーレース、EVレースを開催。2011年にはEne-1GP SUZUKAを開催するなど、これからも次世代のエネルギーイベントに、積極的に取り組んでいきます。

鈴鹿サーキット国際レーシングコース

1周: 5.807km

